

大阪府商店街感染症対策等支援事業 事業報告書（概要）

令和3年1月 大阪府商店街感染症対策等支援事業事務局
 (大阪府商店街振興組合連合会・株式会社産経アドス共同企業体)

1. 事業総括

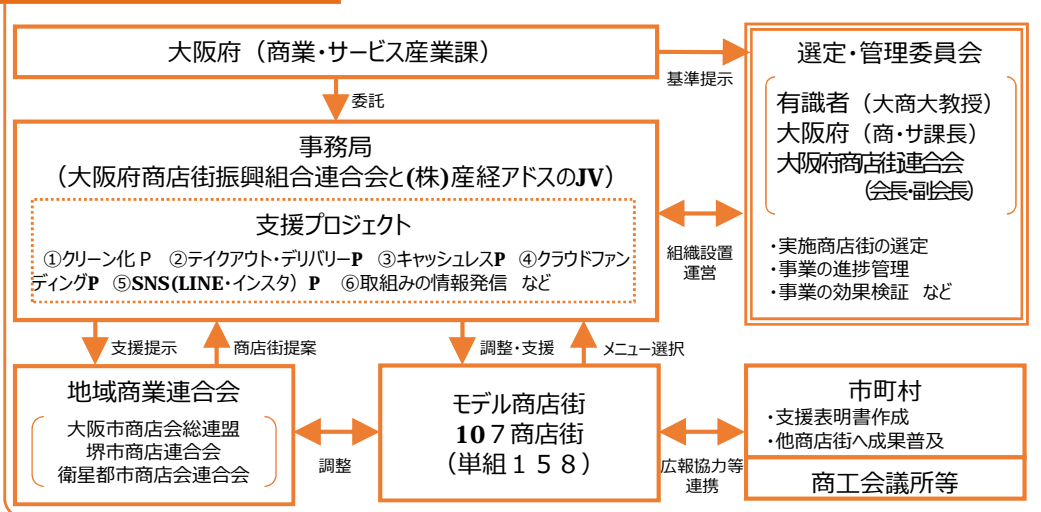
新型コロナウイルスと共存しながら社会経済活動を取り戻すため、日常生活を支える商店街とそこに訪れる府民の皆さまの不安を払拭し、安心して買い物をしていただけるよう、「みんなで守ろう。おおさか」をスローガンに、「新しい生活様式」を踏まえた「感染症対策」と「啓発」の様々な取組みを実施した。

- ①本事業実施モデル商店街の選定（107商店街（単組158））
- ②感染症対策の啓発素材や消毒液を配布（クリーン化プロジェクト）
- ③ニューノーマルに沿った4つのチャレンジプロジェクトメニューを提示・実施
- ④特設ウェブサイトを開設しモデル商店街等の取組事例などを情報発信
- ⑤モデル商店街及び来街者アンケート調査を実施

2. (1) 事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴うインバウンドの急減や外出自粛等の影響により、府内商店街はこれまでにない打撃を受けた。また、感染症クラスター発生日の周辺にある商店街などは、風評被害の影響もあって来街者・売上が激減した。さらに、「緊急事態宣言」発令時も、府民の日常生活を支えるため奮闘した商店街の経営は厳しさを増しており、今後、大阪の経済・雇用および府民生活への大きな影響が不可避となった。このため、商店街が組織的に「3密」を回避する感染症対策を実施するとともに、風評被害を払拭し府民が安心して買い物できるクリーンな場であることを広く発信するための事業を実施する。

2. (2) 事業スキーム



3. モデル商店街

(予定) 100商店街 → 107商店街選定 (158単組)

組織的に感染症対策に取り組む意欲が高く、回復期に賑わい創出に取り組む意向がある商店街等

- ① 雇用や府民の日常生活を守り大阪経済を支える商店街等
- ② 密集、風評被害、インバウンド減少など、特に影響を大きく受けている商店街等

4. スケジュール

R2. 4～6月	7～8月	9～10月	11～12月
委員会（1回）▲▲委員会（2回）委員会（3回）▲ モデル商店街募集・選定▲ 先行実施4商店街クリーン化P▲ 特設ウェブサイトオープン▲	▲先行実施103商店街クリーン化P開始 ▲4商店街で啓発イベント ▲感染症対策マニュアル公表▲ ▲4チャレンジP開始 ▲モデル商店街巡回（対策の見える化等）▲	委員会（4回）▲ ▲府内各地で啓発キャラバン実施 ▲モデル商店街再巡回 ▲広報記事（1回）（2・3回）▲▲	民間企業との連携告知▲ 委員会（5回）▲ 緊急追加感染症対策▲ 広報記事（4回）▲ CO2濃度センサー設置・換気デモ▲ ▲商店街・来街者アンケート (R3年1月事業完了報告▲)

5. 実施内容

支援業務メニュー等	実績
1 感染症対策（クリーン化プロジェクト） ①ポスター等啓発素材・消毒液の配布 ②感染症対策マニュアルの公表 ③啓発イベント及びキャラバンの実施 ④CO2濃度センサー設置・換気デモンストレーション	1 ①107商店街（単組158） ②府内全商店街 ③14か所 ④大阪市内2か所（40店舗）
2 テイクアウト・デリバリー導入促進プロジェクト 3 キャッシュレス決済導入促進プロジェクト 4 クラウドファンディング活用促進プロジェクト 5 SNS（LINE・インスタ）活用促進プロジェクト	2 6商店街（単組6） 3 12商店街（単組17） 4 2商店街（単組2） 5 65商店街（単組76）
6 情報発信（特設ウェブサイト等） ①ニュースリリース・商店街レポートのサイト掲載 ②広報記事作成・動画作成	6 ①ニュース28件・レポート46件 ②記事4件・動画2種類
7 商店街選定・事業管理委員会の開催 8 啓発素材使用承認（モデル以外への横展開） 9 商工会議所・民間企業等との連携	7 5回開催 8 11商店街 9 商工会議所3件・企業4件

6. 目標・効果検証

(成果目標) 100商店街等組織でクリーン化等実施	107モデル商店街（158単組）で事業実施
(効果検証) 商店街・来街者アンケート調査実施	感染症対策の評価が高く来街者の安心感の獲得にも繋がっているなど